



株式会社ダイテック クラウドプロジェクト
 東京都品川区南大井 6-16-19 大森 MH ビル Tel. 03-5762-8660
<https://www.kensetsu-cloud.jp/>

プロモ隊の全国津々浦々 2022.12.26 第5号
取材に行ってきました

取材日: 2022.10.18

鳳建設 株式会社様

注文分譲クラウド DX 現場 Plus



採用の決め手は

成功している会社が導入していたこと

「清流の国ぎふ」。日本のちょうど真ん中に位置する、全国では数少ない内陸県の一つ。南北に伸びる県土の 8 割は豊かな森林が占めており、森林率は高知県に次いで全国 2 位。この豊かな森からは清らかな川が多数流れていて、水力エネルギー量は全国トップを誇るなど、人々の暮らしを支えている。そんな自然に恵まれた岐阜県岐阜市で、「完全自社施工」の木造注文住宅を手がける鳳建設株式会社にお邪魔しました。

— Profile —

**防音工事の経験を活かした
高気密・高断熱の家づくり**

鳳 建設は岐阜県岐阜市に会社を構える工務店で、昭和 33 年 (1958 年) の創業以来、ずっとこの地で営んでおります。私の父が 2 代目で現社長、私が 3 代目にあたります。以前は防音工事をやっていましたが、防音工事は気密断熱の技術と相通じるところがあって、1997 年ぐらいから高気密・高断熱の家も手がけるようになりました。住宅業界は歴史的背景が非常に複雑です。本来、住宅は長寿命化の一途をたどるのが歴史だったのですが、日本においては戦後の住宅不足を背景に家を大量に作りすぎた結果、空き家問題を引き起こしました。この空き家の一番の問題は住宅が社会資産になっていないという

ことです。日本では中古住宅は新築時の半値以下というのが当たり前ですが、海外では建てたときの金額、もしくはそれよりも高く売れるというのが普通です。本来、家を建てることは社会の資産をつくるという行為なのに、日本では建てれば建てるほど地域が貧しくなっていく。それを変えていきたいというのが弊社の思いです。



鳳建設株式会社 専務取締役

森 亨介 様



鳳建設 DATA

創業 64 年。空き家ではなく社会資産となるような、世代を超えて長く住める家の作り方にこだわる。かつて行っていた防音工事のノウハウをいかした高気密高断熱の家づくりは、寒暖差が激しく、水害の多い岐阜県の土地柄に適しており、顧客満足度も高い。「社会資産となる住宅を増やし地域を豊かにしたい」という強い思いのもと、OB 客を対象とした Ohtori-club や夏まつり、もちつき大会の開催など地域への貢献も積極的に行っている。

本社敷地内に建つモジュールハウス。必要なエネルギーは建物の中で生産しており、外からの供給が不要な、シフトハウスを基準認定の建物。

—ダイテックとの出会いから導入まで—
導入の決め手は信頼する工務店からの紹介

社 内で DX に取り組もうという話になったとき、色々な会社の情報を取り寄せる中でダイテックさんの製品を知りました。私の信頼するあすなる建築工房さん(神奈川県)から「現場 Plus を使っている」という話を聞き、成功している会社の真似をしようという事で、ダイテックさんに決めました。

—現場 Plus—

数日かけていた作業が即日完了

や はり私も含めて写真管理は非常に便利になりました。例えば、上棟の報告書を PDF で作って送るんですけど、以前は現場

監督さんが事務所にいる時にデジカメを借りて写真を抜き出して報告書に貼って、お客さんに郵送する作業をしていた。でも今はもうリアルタイムの写真がそのまま確認できるので、事務所で写真を見繕って報告書を作って PDF で送るだけ。今まで数日間かかっていたものが即日できるようになったのは非常に有難いです。また工程表を Excel で作成していた頃はイチから作るようなイメージでしたが、今は標準工程表を現場の規模などに合わせて微調整するだけ。新しいシステムを導入するとまず、現場監督さんから「使いにくい」と言われるのですが、工程表に関しては 1 発目から「これで行きましょう」となりました。それぐらい使いやすかったみたいです。あと変わったことと言えば、図面変更ですね。業者さんに伝わるスピードと正確性は全く違います。紙の図面だと焼き直して全ての人に渡す作業が必要でしたが、今は変更すれば自動で通知がいつ現場に伝わります。ものすごく便利で助かっています。

マンパワーを育てるよりもシステム導入で 10 人分の仕事量

マ ンパワーを一生懸命育てるよりも、システムを導入した方が 10 人分くらい仕事をしてくれるというのはすごく実感としてあります。1 人の監督さ

んが持てる現場数も格段に増えてますし、負担感も少なくなる。慣れてさえしまえば無くてはならない存在になる。携帯電話がまだなかった頃、携帯電話を持つというのは結構面倒だったかもしれませんが、今は無くてはならないツールになっているのと同じですね。DX 化を進めていかないと若い社員さんは定着していかないとします。

—注文分譲クラウド DX—
社内の人の事務作業を軽減

以 前の顧客管理システムは社内サーバーを運用してありましたが、出先からお客様の情報が見れず、事務所に確認しなければならない状態でした。注文分譲クラウド DX の導入後は出先でも情報を確認できるようになったので事務所に電話する機会はすごく減りました。事務所に何かを確認してもらうことは事務員も手間を取られますし、依頼した人も待ち時間があつたりとお互い非効率だったのですが、それがなくなったのはすごく大きな変化です。

ライフスタイルの変化に応じた働き方の実現

結 婚を機に退職された元社員さんでアフターサービスの仕事を手伝ってもらっているスタッフがいます。以前であれば出社しないと点検予定がわからなかったのですが、クラウド化したことで自宅で予定を確認して、そのまま点検に行ってもらえるようになりました。正社員でなくても同じように働けるようになったことは、ものすごく大きいことだと思います。以前の顧客管理システムでは、実現できなかった働き方です。

—導入を検討されている方へ—
平均 2~3 時間の残業時間短縮へ

音 は 21 時、22 時まで事務所に残っているのが割と日常茶飯事でしたが今はもう 19 時くらいには事務所の電気が消えているという状況ができています。クラウドを導入した目的は業務の円滑化ですが、予定どおりスムーズに進んでいるのが弊社の例かと思っています。ダイテックさんはサポート面でも安心ですので是非導入されるといいのではないのでしょうか。

編集後記

■ 今年の 5 月に創刊した「ダイテック Channel」も今回で 5 回目の発行となりました。こうして毎月、取材できるのもユーザーの皆様のご協力あってのこと。あらためてこの場をお借りして御礼申し上げます。来年も全国津々浦々、取材で飛び回りますので東松(↓)共々よろしく願いいたします!(江谷)

■ 鳳建設様の製品の運用のお話はもちろんですが、日本における住宅の歴史について非常に興味深く、勉強になりました。「中古住宅が地域の資産になる」、私にとっては新しい発想でした。ダイテックの研修センターもあり、馴染み深い岐阜県岐阜市が住宅を通じて更に豊かになっていくのが楽しみです。鳳建設様、改めてこの度はありがとうございました!(東松)